

新市基本計画素案に対する住民説明会、意見用紙、メールによる意見一覧

No	種別	意見等	新市基本計画案での取り扱い
1	意見用紙	真岡市は老人にとって住みやすい街として認識しています。願わくは、今人気を呼んでいるグランドゴルフやパークゴルフができるように、テーマパークのようなものを造成（鬼怒運動公園）して欲しいと思います。老人たちの交流の場になるのではないかと信じています。	本計画28ページ施策の展開「スポーツ・レクリエーション施設の整備」及び「生涯スポーツの推進」の中で、市民の皆様のご意見をお聞きしながら、高齢者にも気軽に利用できる施設等を検討してまいります。
2	意見用紙	いちご日本一の二宮町の農業や、水田農業に関する生産調整の問題等も含め、合併後の市政に間違いのない政策の実現に努力してもらいたい。	首都圏に位置する立地条件を活かし、土地利用型農業と合わせて、いちご・なす・トマトなどの施設園芸の育成に努めてまいりました。合併後も引続き、首都圏農業の育成のため、いちご栽培も含め園芸作物の推進に取り組んでまいります。 また、生産調整については、農業者団体が主体的に取り組む需給調整システムが導入され、売れる米づくりに積極的に取り組んでいるところであります。 合併後も関係機関と連携を図り、本計画35ページ「農業の振興」に掲げる施策の展開を着実に推進し、地域農業の振興に努めてまいります。
3	意見用紙	学校給食に米飯を取り入れていただきたい。（米が余っているの、水田農家救済のため、地場産業育成のため）	真岡市、二宮町の両市町においては週3回の米飯給食を導入し、地産地消の観点から、全量真岡産米と二宮産米を使用しております。新市においても、本計画35ページ「農業の振興」における「食育・地産地消の推進」の中で、米の消費拡大と食育の推進に努めてまいります。
4	住民説明会 (真岡市)	二宮町が合併することにより土地が増える訳ですが、いちごが有名であることもあり、新真岡市の市民が地産地消できるような行政指導が、これから求められる時代ではないかと思う。現在の日本は、休耕地が増え外国から食糧を買って自給率が39%となっているが、中国の餃子問題などがあり、これからは外国からの食糧にたよることは非常に難しくなると思う。真岡市の行政指導の中で、二宮の農業の振興に力をいれていただいて、地産地消の政策に努力いただけますようによろしくお願いいたします。	本計画35ページ「農業の振興」における諸施策の展開により、新市全体の農業の振興及び地産地消の推進を図ってまいります。
5	メール	街が活気づくように市民をもっと明るく元気にさせられるようなイベントを開催するとよいと思う。	イベントの開催に関しては、本計画35ページに「観光・イベントのPR強化」を掲げており、イベントによる効果等の検証をしながら進めてまいります。

No	種別	意見等	新市基本計画案での取り扱い
6	メール	車を運転していて危ないと思う箇所が結構あります。実際に歩いたり車を運転したり自転車で乗ってそういう場所の改善をしてみると良いと思います。	施設点検や修理を行っていますが、もし、交通安全施設の破損または危険箇所等を発見した場合は、交通事故防止のため、電話等でご連絡ください。 また、本計画においては32ページ「交通安全の推進」の中で、道路及び交通安全施設の整備を述べており、安全快適なまちづくりを推進してまいります。
7	メール	車道から歩道へいく際の段差は解消したほうが良いと思う。そうすれば市民にやさしい街になると思います。	車道から歩道へいく際の段差の解消を含め、高齢者や障がいのある方を含む全ての市民が、安全で快適な日常生活が営め、積極的に社会参加ができるよう、本計画26ページに「バリアフリーのまちづくり」を掲げ、安全・安心のまちづくりを推進してまいります。
8	メール	最近道路が増えましたが、本当に必要な道路だけを造って欲しいです。環境破壊が続く中せめて真岡だけでも自然が豊かな街であって欲しいです。	現在、北関東自動車道や国道408号鬼怒テクノ通りなど、大規模な道路整備が進んでおりますが、これらの道路は新市の産業の発展や広域的な交流連携には必要不可欠であります。 今後も、本計画26ページに掲げる「道路ネットワークの整備」などの施策により、自然環境の保全と保護に留意しながら道路整備を進めてまいります。
9	メール	真岡に観光客を増やしたいのであれば、伝統ある真岡木綿等の体験や井頭公園をもっと華やかにしたり、乗って楽しめるSL、お寺めぐりの観光ガイド等、足を運びたいと思えるところを紹介したりすれば賑やかになると思います。	真岡市では、真岡木綿会館の整備により、真岡木綿の普及推進に取り組むこととしております。また、SLの運行や井頭温泉、井頭公園をはじめ、市内観光施設等の充実等については、本計画34ページ「観光の振興」において、新市における観光ネットワークの構築や新たな観光資源の掘り起こし等に努めることとしております。
10	住民説明会 (二宮町)	以前私は真岡に住んでおりましたが、インフラが整っていました。バスも通っており宇都宮、石橋に行けましたが、二宮はインフラが真岡鐵道しかないことに驚きました。今は宇都宮、東京に行こうと思った場合はJRや車を使っています。東京に行くときには車を小金井にしています。新市にお願いというのは、できれば二宮からJRにいけるようなマイクロバスを走らせていただければありがたいと思います。	公共交通の充実が真岡市においても要望の多い施策の一つであります。平成20年度は公共交通運行調査を実施し、新たな公共交通の導入の是非等を検討する予定としております。新市においても、本計画26ページ「公共交通ネットワークの整備」の中で検討してまいります。

No	種別	意見等	新市基本計画案での取り扱い
11	住民説明会 (二宮町)	<p>真岡鐵道について、行政に携わっている方々が、真岡鐵道をいかに利用し、寄与して行くのだということがここ10年をみても全く感じられない。利用できる立場の人がきちんと利用していないところが、一番問題であると思いません。私も通勤で利用していますが、どんどん寂れてゆくばかりで、時にはSLを走らせ、テレビで放映されることもアピールになると思いますが、それを見た人が明日から利用するのかと言うと、そうではないので、もう少し第3セクターで行政が資金を提供して営業している訳なので、効率的に経営するにはどうした方がいいのか、きちんと議論していただきたいと思う。</p>	<p>真岡鐵道については、沿線自治体や関係団体が連携して真岡鐵道を支援するため、真岡鐵道再生支援協議会を設立し、平成18年度から22年度までの5年間を期間とする「真岡鐵道再生計画」を策定し推進しているところです。</p> <p>この計画は、利用者利便の向上等活性化・再生に向け、鉄道利用者の輸送人員目標、増員施策、施設等の整備目標、整備内容及び年度別計画を策定し、その実施について会社の責務や地方自治体及び地域関係者の支援内容を明示し、関係者が一体となって推進しています。</p> <p>本計画においても、26ページ施策の展開に「真岡鐵道の近代化及び利用促進」を掲げており、これまでの経過等も踏まえ利用客増に関する支援を図ってまいります。</p>
12	住民説明会 (真岡市) 意見用紙	<p>新市の土地利用について、各ゾーン別のうち何にも属さないゾーンは田園・農村ゾーンになっています。田園は田んぼや畑であり、農村は集落(住宅等)でありその他(山林、竹山、空地等)と分れるのではないのでしょうか。調和のとれた均衡ある発展を図ろうとするには大雑把なゾーンの分け方だと思います。田園、農村、その他ときちんと3つに分けて、田園は乱開発しないように、農村は集落としてあるべき姿に、その他は有効活用するなどそれぞれについて考えていかなければならないと思います。合併により増加するのは田園・農村ゾーンです。この対策こそ重要ではないでしょうか。このうち、農村ゾーンについては社会情勢の変化、少子高齢化の時代に入り昔の農村集落とは大きく異なってきています。農村集落に住む人達は農家ばかりでなく、別な職業の人が多くなっています。これからの集落について、農地法や都市計画法でよそ者を入れないなどの縛りをしていては、集落は衰退し調和のとれた発展はおぼつかないと思います。集落を集約したり農業者以外の人も共存できる地域づくりを考え、インフラの整備や情報網の構築を進めることが必要だと思います。</p>	<p>本計画におけるゾーン整備の方向性は、農地法や都市計画法に沿った新市における土地利用について、その基本方針としてのイメージ化を図ったもので、細部の土地利用については、この基本方針を基に農業振興地域整備計画等、各々の計画により具体化するものであります。</p> <p>なお、農村の振興については、本計画35ページ「農業担い手育成」や「農村生活環境の整備促進」等により、活力に満ちた農村社会の実現に取り組んでまいります。</p>
13	意見用紙	<p>新市基本計画の中では第一に財政の健全化を要望します。</p>	<p>財政の健全化も含め、新市の基本方針である6つの柱に基づき、堅実な行財政運営に努めます。</p>

No	種別	意見等	新市基本計画案での取り扱い
14	意見用紙	<p>人件費を毎年定年で減っていく分は補充はせず歳出効果を上げていくとの事ですが、このことにより 平均年齢は上昇残された末端の人達の負荷は増大 不満が拡大 ヤル気が薄れ 役職者が無策となる。10年間定年の減員を待つだけでなく、他の無駄も考え水槽の水も替え、活きのいい魚も入れながら、だれもがほっとできるまち真岡にしてほしいものです。</p>	<p>本計画においては、行政需要に応じた職員の適正配置に配慮しつつ、退職者の約2分の1の職員数を補充せず人件費を削減するとともに、行政評価システムを活用するなど効率的な行財政運営を図り、市民福祉の維持向上を目指すこととしております。</p> <p>また、人材の育成においては、本計画37ページの施策「組織・人材の強化」により、優秀な人材の確保や職員の継続的な能力開発、その効果的な活用を図るため、職員の人材育成に努めるなど、職員の能力向上を図ってまいります。</p>
15	住民説明会 (二宮町) 意見用紙	<p>新真岡市の北と南に大きな玄関を造る計画があっても良いのではないかと考えます。</p> <p>是非、基本計画の道路計画の中で、インターを岩瀬、長田間にもう一箇所を検討していただきたいということをご提案申し上げます。</p>	<p>北関東自動車道路については、広域交流軸として捕らえ新市発展のためには、欠くことのできない重要な道路として位置づけております。</p> <p>ご提案につきましては、北関東自動車道の将来の交通量やインターチェンジのアクセス道の建設費用などを勘案し、新たなインターチェンジ等の設置要望について判断してまいります。</p>
16	意見用紙	<p>半日、一日いても飽きない公園をつくってほしい。(益子町田野の南運動公園、茨城県筑西市の県西公園等遊具の充実した公園)</p>	<p>公園の整備については、本計画26ページ施策の展開に「公園の整備及び維持管理の推進」を掲げ、土地区画整理事業等の実施にあわせ、計画的な公園の整備を推進してまいります。</p> <p>大規模公園については、真岡市内に栃木県設置による井頭公園がありますが、今後も関係機関と連携し公園の整備充実を促進してまいります。</p>
17	意見用紙	<p>合併を機に新たな試みとして、図工、家庭科、音楽、生活科、総合学習等の授業に地域住民が参加できる制度を整えることを提案いたします。</p> <p>教育の現場で地域住民の協力が必要と感じながらも、市民の学校教育に対する意識や生活の変化により実現が難しいこと。また、先生方に対する保護者の要望が、学力向上以外にまで及ぶことによる、主要教科以外の準備に使える時間の不足などの現状にあると考えます。この状況を打開するために、自然教育センターで確立しているボランティア指導者制度を学校内の授業に拡大することにより、地域住民の学校参加と授業内容の充実が図れると考えます。</p>	<p>現在、真岡市では、「真岡市公立学校教育目標」及び「真岡市教育委員会基本方針」に基づき、生活科、総合学習等の時間に、保護者や祖父母、地域のボランティアの皆様のご協力をいただき、読み聞かせ・昔ばなし(戦争体験等)・街中探検の付き添い・農場体験などを実施しております。</p> <p>本計画においても、27ページの「小・中学校の教育の充実」において、学校・家庭・地域社会の連携強化を図ることとしており、新市においても、技術と経験をもった有識者等を学校教育に活用し、教育の一層の充実を図ってまいります。</p>